

脊振ダム護岸補修工事

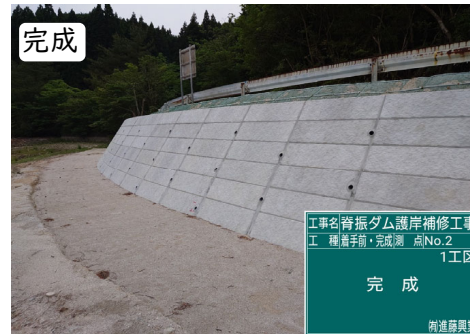
1 工事目的

脊振ダムの護岸を、ブロック積み擁壁で補修するもの。

2 工事内容

- (1) 工事件名 : 脊振ダム護岸補修工事
- (2) 履行期間 : 令和5年12月20日～令和6年6月30日
- (3) 請負金額 : 20,864,800円
- (4) 工事内容 : ブロック積み擁壁設置工 228㎡
- (5) 請負業者 : (有)進藤興業 取締役 進藤 誠
- (6) 発注課 : 水道局浄水部浄水施設課

3 位置図、工事写真



4 特に顕著な事項

- ① **コンクリート二次製品の活用による施工期間の短縮**
工事中は脊振ダムの水位を低下して施工する必要があるため、ブロック積み擁壁の基礎に、コンクリート二次製品のブロックを使用する事で施工期間を短縮し、ダム水位の早期回復に寄与した。
- ② **環境対策**
ダムの水質保全のため、建設機械等の始業前点検を徹底するとともに、オイル漏れに速やかに対応できるように吸着マットを常備するなど、環境保全に取り組んだ。
- ③ **周辺地域との調和**
工事現場の出入り口に、フラワープランターを設け、福岡市発注の工事のイメージアップに努めた。
- ④ **その他：安全衛生の取組み**
工事現場に休憩所を設け、救急箱・飲料水などを常備し、作業従事者の安全衛生に努めた。



南畑系導水管更新工事(第1山田橋推進)

1 工事目的

老朽化した導水管(φ800mm)を耐震管で更新整備するもの。

2 工事内容

- (1) 工事件名 : 南畑系導水管更新工事(第1山田橋推進)
- (2) 履行期間 : 令和4年10月14日 ~ 令和6年7月31日
- (3) 請負金額 : 286,825,000円
- (4) 工事内容 : 管布設工 φ800mm PN形ダクタイトイル鑄鉄管 L= 90.5m
管布設工 φ800mm NS形ダクタイトイル鑄鉄管 L= 2.6m
泥水式推進工 HP φ1000mm L= 86.0m
- (5) 受注者 : 東建工株式会社 代表取締役 田中 尉
- (6) 発注課 : 水道局浄水部浄水施設課

3 位置図、工事写真



4 特に顕著な事項

- ① 幹線道路での長期にわたる工事において事故0
交通量が多い国道385号における工事であり、令和4年10月から令和6年7月までと長期間であったが、自社による定期的な安全パトロールに加えて、建設業労働災害防止協会の講師を招き安全衛生教育を実施するなど、安全対策を徹底したことにより、事故なく工事を完成した。
- ② 想定と異なる地層が確認された際の対処及び施工計画
立坑の掘削時、想定と異なる地層が確認されたが、地盤の変状による周辺環境への影響や近接構造物、地下埋設物への影響に配慮した対処方法を積極的に提案するなど施工計画の再検討を実施し、現場においても適切な施工・工程管理に努め、工事を進めた。
- ③ 歩行者通路の安全確保
施工ヤードの影響から、歩行者通路を仮設していたが、周辺には照明が無い状況であったため、LEDセンサーライトを設置し、夜間の防犯及び通行の安全確保に努めた。
- ④ 地域貢献活動の実施
那珂川市内での工事でもあったため、現場周辺の清掃や除草活動、使用した駐車場の整備など、様々な地域貢献活動を行い、福岡市発注の工事のイメージアップに努めた。

① 建災防による安全衛生教育の実施



② 想定と異なる地層に対処した施工



③ LEDセンサーライトの設置



④ 地域貢献活動(駐車場の整備)



東区大字西戸崎地内配水管布設工事（工事概要）

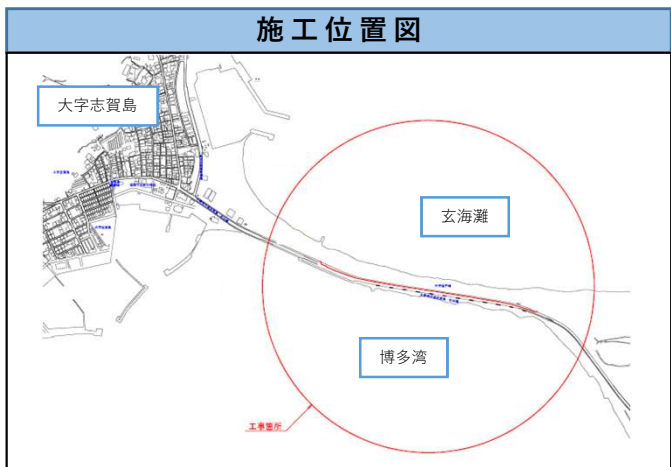
1 工事目的

老朽化した既設配水本管を耐震管で更新整備するもの。

2 工事内容

- ① **工事件名**：東区大字西戸崎地内配水管布設工事
- ② **工 期**：令和6年2月7日～令和6年10月13日
- ③ **契約金額**：¥123,861,100
- ④ **工事内容**
開削工：φ150mm GX形ダクタイル鋳鉄管 布設 L=639.7m
(φ150mm MLD 鋳鉄管 撤去)
- ⑤ **発注者**：福岡市水道局配水部東部管整備課
- ⑥ **受注者**：株式会社 福岡日野組 代表取締役 日野洋三
- ⑦ **特に顕著な事柄**

- I. 施工管理に関する取り組み
管接合部の測定値記録において、施工情報システムを導入することにより業務の効率化を図るとともに、施工不良の防止を行った。
- II. 新技術活用に関する取り組み
工事看板にNETIS登録技術であるバイオマスシート及びびKYスマートフレームを使用することにより、温室効果ガス排出量の削減と工事看板の耐久性の向上を図った。
- III. 安全衛生に関する取り組み
作業員や通行者の突然の心臓停止から命を救うため、自動体外式除細動器を工事現場に配置した。また、保安設備に4か国語で標示された看板を使用することで、外国人に対する交通誘導の強化を行った。
- IV. 労働環境改善・業務の効率化
4週8休工事の実施や遠隔臨場を行った。



3 工事写真



4 特に顕著な事柄



博多区吉塚6丁目地内φ600mm配水管布設工事

発注課：水道局配水部西部管整備課

1 工事目的

本工事は、基幹管路更新計画に基づき、対象路線の既設配水本管φ600mmを更新整備するもの。

2 工事内容

- (1)工事件名： 博多区吉塚6丁目地内φ600mm配水管布設工事
- (2)履行期間： 令和6年3月15日 ~ 令和6年12月27日
- (3)請負金額： 162,782,400円
- (4)工事内容： 管布設工 φ600mm NS形ダクタイトイル鑄鉄管 L= 178.2m
管布設工 φ600mm PN形ダクタイトイル鑄鉄管 L= 35.8m
小口径管推進工法(高耐荷力管推進工法)φ750mm L= 33.3m
- (5)請負業者： 大徳産業(株) 代表取締役 島村 愛加里



3 特に顕著な事項

①施工に関する取り組み

住宅等が近接しているため、オートアイドリングストップ機能を搭載したバックホウの使用や消音刃を使用した舗装切断を実施し、騒音・振動の低減を図った。

②安全衛生に関する取り組み

視認性向上のため透明な工事看板の使用や外国人にも伝わるよう4ヶ国語で標示された工事看板の設置、また幹線道路での工事であったためAED搭載車を使用するなど、安全衛生への取り組みを行った。

4 工事写真



博多区博多駅東2、3丁目地内配水管布設工事（工事概要）

工事目的

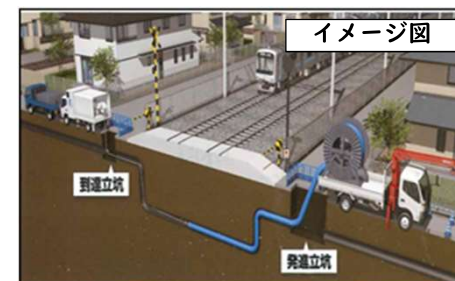
本工事は、博多区博多駅東2、3丁目の事故歴配水管に伴う配水管整備を行った工事である。

工事内容

- ① 工事件名：博多区博多駅東2、3丁目地内配水管布設工事
- ② 工 期：令和6年7月3日～令和7年3月15日
- ③ 契約金額：¥209,613,800
- ④ 工事内容
 - SDF工：φ500 ステンレスフレキ管 L=31.5m
 - 連絡工：φ700 K形ダクタイトイル鑄鉄管 L= 8.4m
- ⑤ 発 注 者：福岡市水道局配水部中部管整備課
- ⑥ 受 注 者：株式会社才田組 代表取締役 才田 善之
- ⑦ 特に顕著な事柄
 1. ソーラー式保安灯や音声標識を用い、施工時の交通安全確保に努めた。
 2. 地域清掃活動に参加し、地域住民との調和を図った。
 3. 立坑内のガス管の損傷を防ぐため、防災シートにて養生を行った。
 4. 舗装切断の際に低騒音ブレードを使用し、騒音の低減を図った。

SDF工法について

既設管内にステンレスフレキ管を引き込み、管路更新を行う。本工事は交差点内で漏水している基幹管路φ700の更新を目的としており、地下埋設物が輻射していることから開削による更新が困難であったため、SDF工法にて更新を行った。



施工位置図



工事写真

挿入状況



工事完成



一人一花運動



特に顕著な事柄

1. 交通安全確保



2. 清掃活動参加



3. ガス管養生



4. 低騒音ブレード



中央区渡辺通2丁目地内配水管布設工事

1. 工事目的

・本工事は、中央区渡辺通2丁目地内の配水管老朽化（更新優先地区）に伴う配水管整備を行うもの。
 工事路線は昭和46,47年布設（φ200）の管になっており、その更新工事を行う。

2. 工事内容

- ①**工事概要**：中央区渡辺通2丁目地内配水管布設工事
- ②**工期**：令和6年8月14日～令和7年3月1日
- ③**契約金額**：¥55,407,000
- ④**工事内容**：開削工：φ200 GX形ダクタイル鋳鉄管 L=180.3m
- ⑤**発注者**：福岡市水道局配水部中部管整備課
- ⑥**受注者**：北設備工業 株式会社
- ⑦**特に顕著な事柄**
 1. 都市部の夜間施工であるため、周辺住民、施設に配慮し、「GXエース・防音パネル」を用い、工事騒音の軽減に努めた。
 2. 本工事箇所は自転車や歩行者の通行が多く、工事箇所の段差などによる転倒防止を図るため、工事前に舗装面、工事看板のパトロールを実施し、不具合があればその日のうちに是正した。
 3. 工事看板は景観に配慮したものを設置し、KY活動表や週間工程を提示することにより、工事が安全に正常に進捗していることを周知した。
 4. 既存タイル（主に宅内側タイル）に養生を行い、施工の影響が及ばないように配慮した。
 5. 工事箇所はタイル歩道となっているが、一時的にアスファルトでの復旧となっている。歩行者や自転車の通行に支障がないよう、舗装材に再生細粒度アスコンを使用し極力、既存タイルとの段差や間隙解消の施工品質の向上に努めた。
 6. 地域住民との親交を深めるため自治協議会とも協議し、校区の年末恒例行事である「餅つき大会」に参加し、本工事、水道事業へのご理解とご協力を得られるよう努めた。



3. 工事写真



4. 特に顕著な事柄

<p>1. GXエースの使用</p>	<p>2. 現場パトロール</p>	<p>3. 工事看板</p>
<p>4. 養生シートの設置</p>	<p>5. 再生細粒度の使用</p>	<p>6. 地域貢献（校区恒例行事）</p>